

電気製品の 火災に気を付けよう



電気火災が 増えています

電気は、私たちの生活に必要な不可欠なエネルギーとして社会の隅々に深く浸透しています。近年、電気や電気製品による火災は全国的にも増加しており、主な火災の原因として、電気や電気製品を使用する際の不適切な維持管理や取扱い上の不注意があげられます。必ず取扱説明書などをよく読み、正しく使用しましょう。

トラッキング現象

長時間差し込まれているコンセントとプラグの間に、湿気やホコリなどが溜まることで放電・発火する現象。

家具の裏や台所、お風呂の脱衣所など水気の多い場所で、長期間差し込まれているコンセントは注意が必要です。

リチウムイオン電池

充電が可能で繰り返し利用することができる電池で身の回りの多くの電子機器で使用されています。しかし高温下での放置や破損により発熱・発火する恐れがあります。

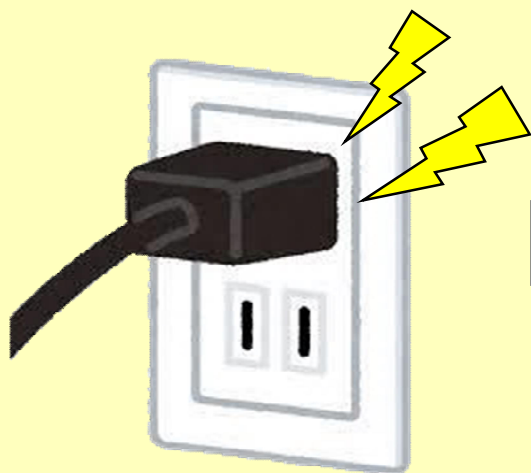
各機器を購入した時に付属されている充電器やメーカー指定のものを使用し、膨張、異音、異臭などの異常が生じた場合は使用をやめてメーカーや販売店に相談しましょう。

過電流（たこ足配線）

コンセントや延長コードには、定格容量が決まっています。タコ足配線により定格容量を超え一度に多くの電気機器を使用し続けると、過電流となり発熱・発火する恐れがあります。

電気機器の消費電力やコンセント・延長コードの許容電流を確認し、定格容量内で使用しましょう。

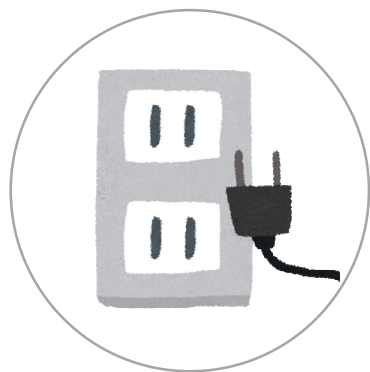
「小さな焦げ跡」を見つけたら
消防署へご相談ください！！



大きな火災に
つながることも...



もしも電気火災が発生したら



電気を遮断する

コンセントから
プラグを抜く
・
ブレーカーを OFF にする



消火器で消火する

消火器がない場合は
必ず電気を遮断した状態で
水で消火しましょう



119 番通報

炎が大きくなったり身の危険
を感じたときはすぐに避難し
119 番通報してください
消し止めた場合も安全のため
通報しましょう

〈 電気火災を防ぐポイント 〉

コード・コンセント・プラグ

- ①コードを家具の下敷きにしたり、ねじったり束ねた状態で使用しないようにしましょう
- ②コードやコンセントの定格容量内で使用しましょう
- ③コンセント周りを定期的に、乾いた布で掃除をしホコリがたまらないようにしましょう

家電製品

- ①使用する前に必ず、取扱説明書をよく読みましょう
- ②扇風機や電気ストーブなどの通年使用しない電気製品は差し込みプラグのホコリや金属部の腐食など、安全面を確認してから使用しましょう
- ③製品に劣化や損傷がみられる、使用時に異音や異臭がするなど、故障がみられる場合は使用しないようにしましょう